

一般向け

# 縄文土器づくり教室

富士見市内の遺跡から出土した縄文土器をモデルに、粘土こね・製作・焼成までの一連の土器づくりの作業を通し、縄文人の技術を4回シリーズで学ぶものです。参加者は21人。製作には富士見市資料館友の会土器づくり部会の協力を得ました。

2016年



## 事前学習・粘土こね

土器づくりには良質な粘土は不可欠。まず粘土に砂を混ぜて素地づくりから。

えっ、水を何グラムでしたか？

さあ、素地づくり スタート！



自然の粘土:砂の割合を 10:3 に

こねくりまわすよ〜



粘土と砂を混ぜてよく練ります。粘土の中の空気が押し出されて焼いた時にわれにくくなります。

## 土器の成形



底は薄からず、厚からず  
ですよお〜



平らにつぶしておせんべいのような丸い形の土器の底をつくり  
ます。



同じ太さで、このように  
積み上げます。



同じ太さの粘土ヒモを作りいよいよ積み上げ開始です。同じ太  
さでないと、土器の厚さが一定せず割れやすくなります。



くびれの部分が  
難しいです！



せい~の！

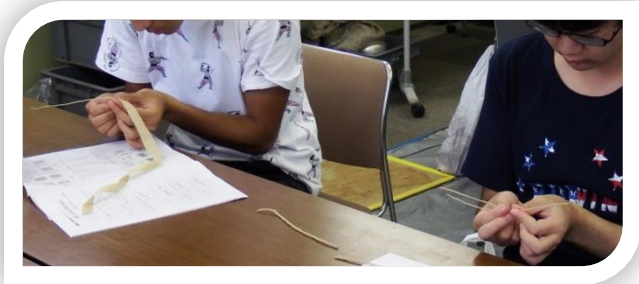
粘土ヒモをていねいに積み  
上げて、ほろっこの通り  
♪





# 土器を飾る・みがく

粘土ヒモを貼り付けて、隆帯(りゅうたい)という文様をつきたいのですが、これが、なかなか……。



縄文原体づくり



縄文原体づくり



貝殻などで、内側をみがきます。これをしないと水がもれちゃいます。



篠竹で線を入れると深すぎると突き出すようになって、すー！ 気をつけまじょう。

# 土器を焼く



うまくできたよね！  
スバラシイ！



まず、空だきをして、土器を乾燥させるため周りにおきましょう



空だきがおわったら、いよいよ焼く土器を並べますヨ



薪を積み上げて、ガンガン燃やします

わたしは 縄文十ベ 担当ヨ♪



焼きたてのほっかほか！



ステキにできた～❤